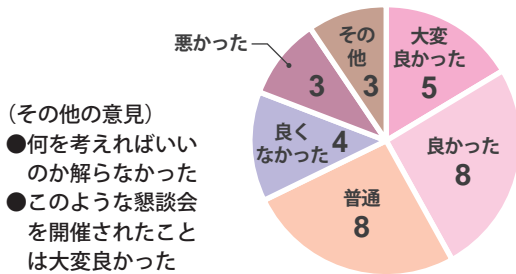


第1回石神井公園駅周辺地区まちづくり懇談会では大勢の方々にご参加いただき、ありがとうございました。当日いただいた自由意見をすみやかに地域の皆さまと共有するため、『まちづくり懇談会ニュース創刊号』を発行いたしました。第2号（本号）では、第1回でいただいたアンケートの集計結果や、主なご質問・ご要望に対する区の回答について、お知らせします。

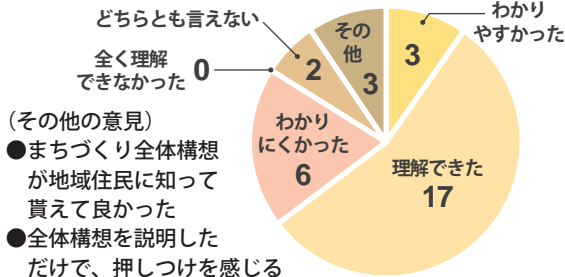
第1回まちづくり懇談会 アンケートのまとめ

（総数：31）

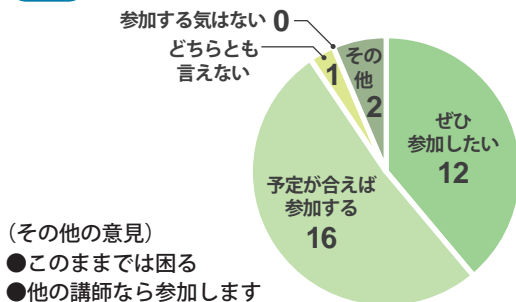
問1 本日の懇談会の満足度



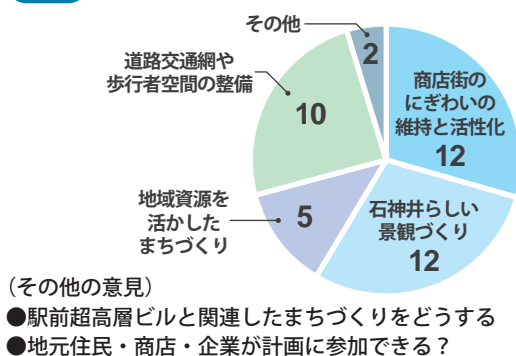
問2 説明内容のわかりやすさ



問4 次回も参加したいか



問5 次回議論したい内容（複数回答含む）



問3 満足／不満だった点（一部抜粋）

満足だった点

- 第1回の会として、石神井エリア全体の計画概要が分かったのでよかった。今後も2回、3回と定期的実施してほしい。
- いろいろな方々の貴重なご意見を聞くことができ、以前にやっていたこのような会よりも前向きな感じがした。行政の方々にもっといろいろ考えていただきたい。

不満だった点

- 進行の仕方が不満。意見集約にならず、まちづくり全体構想を押しつけている。
- みどりの風吹くまちビジョンの説明は、あまりに抽象的でとても分かりづらかった。
- 計画の説明が不十分でした。タイムスケジュールを明確にした方がよい。現在までの改善の説明が多く、232号線の問題の審議（が不足）。
- 道路の問題。理解しにくい。 ●発言が反対論者ばかりである。
- 区ははっきり232号の整備推進を発表しているのに、反対の質問に対してその必要性を説明すべきと存じます。もっと反対する人に説得する熱意がのぞましい。
- 反対している人がまだいると思いますが、それらの意見がなく良いことばかり話している。
- 質問等の時間がもう少しほしい

問6 ご意見・ご要望（一部抜粋）

- 途中で予定が変更になったが、付箋を活用してのグループワークをしたかった。が…住民の不満がたまっているのだという事実が分かったので、やむを得ない状況だったと思う。今後は、テーマをある程度分けて、こういった会を増やして欲しい。
- 区民のそれぞれの立場や考え方があって、賛否があってもいいと思います。その内から、まちづくりの方向性やコンセンサスを見つけて欲しい。
- 全体を考えると、反対されても必要な道路はあると思う。その必要性をもっと丁寧に説明してもらえれば理解が得られるのではないかな。
- 石神井らしい、ということで、以前は高いビルを作らないようにすると言っていたのに、180度変わっている。石神井らしいとは何なのか。充実した商店街も、大鷲神社のお祭も、住みやすさも、みどりも、ちゃんと考えたいし、考えてもらいたい。
- 全員賛成はありえない。（全て自分の意見が通るのではない）高所に立った見地から事業決定して下さい。（義務・責任は果たさないで権利ばかり主張する意見には納得できない）
- 東北のある都市で商店街を横切る国道を設置した際、まちが発展すると信じていたとのこと。現状は商店街が分断され、ネットワークが途切れてしまい、いかに持ち直すかを日々検討しています。バス通りができる（132が通る）時の状況を見ることがまずは重要なのではないのでしょうか。
- 住民と行政が一体となってまちづくりをしていくべきと考えるが、行政の本気度はなかなか伝わって来ない。
- 流入者のマナーの悪さが目立つ。古くから住んでいる人との協調性がない。

第1回まちづくり懇談会の主なご質問・ご要望に対する区の回答

第1回の懇談会でいただいた参加者の皆さまのご意見から、本地区がより魅力的なまちへ発展していくことを望んでいる、という点が共通していることが分かりました。

まちの発展のためには、まず本地区に足を運んでいただくことが不可欠であり、駅前の顔づくりは、そのための大きなきっかけとなるものです。区は石神井公園駅周辺地区において、鉄道の高架化により南北の自由往来が可能となった駅前から、石神井公園までが一体となったまちづくりを目指してまいりたいと考えております。

● 補助232号線・商店街について

Q1 なぜ補助232号線が必要なのか？

A1 補助132号線から富士街道までの区間につきましては、歩行者の安全と円滑な車両通行の両立、駅南口へのアクセス向上、商店街の通過車両の軽減、防災性の向上などのため、整備が必要と考えております。

Q2 補助232号線で商店街が分断されてしまうことについての区の考えは？

A2 補助132号線と同じ、幅員16mの道路の中で、両側に歩道を整備することにより、歩行者の安全性が確保され、良質な都市空間の形成が期待されるため、歩行者環境の向上に資するものと考えております。
あわせて「歩行者重視の商店街」の実現に向けて、魅力ある商業環境の整備の検討を進めてまいります。



南口駅前広場から商店街を望む



駅前通り

Q3 商店街の活性化についての区の考えは？

A3 区は社会基盤整備等のハード事業とともに、歩行者が安心して歩ける商店街を実現し、駅と石神井公園を拠点とした地域の回遊性・利便性を高めていくことが必要と考えております。

また、みどりや文化など地域の資源を活かし、他の地域にはない特色ある商店街づくりに向けたソフト事業も検討することにより、商店街の活性化につなげていきたいと考えております。

● 再開発等について

Q4 南口西地区再開発の現在の状況は？

A4 現在、再開発準備組合の事業計画案に対し、区は都市計画決定権者として技術的な指導や助言を行っている状況です。事業計画案が地域にふさわしいものになった段階で、説明会等を含めた都市計画手続きを行ってまいります。

Q5 再開発に対する区の考えは？

A5 オープンスペースの確保による良質な都市空間の創出、補助232号線（南口駅前広場～富士街道区間）の整備、防災性の向上、駅前の顔づくりなど、数多くの地域貢献をもたらす有効な事業手法であると考えております。

Q6 再開発のビル風対策は？

A6 現在は詳細な施設計画を行う段階ではありませんが、ビル風の発生の軽減に努めるよう事業者に指導を行ってまいります。

Q7 このまちに高層ビルはふさわしくないのでは？

A7 本地区は、石神井公園をはじめ、豊かな自然に恵まれた地域でありながら、区内西部地域の中心的な役割を担う地域拠点でもあります。

石神井の持つポテンシャルを高め、石神井固有の地域資源を活かすためにも、駅前については土地の高度利用や商業施設の集積を促進する必要があると考えております。

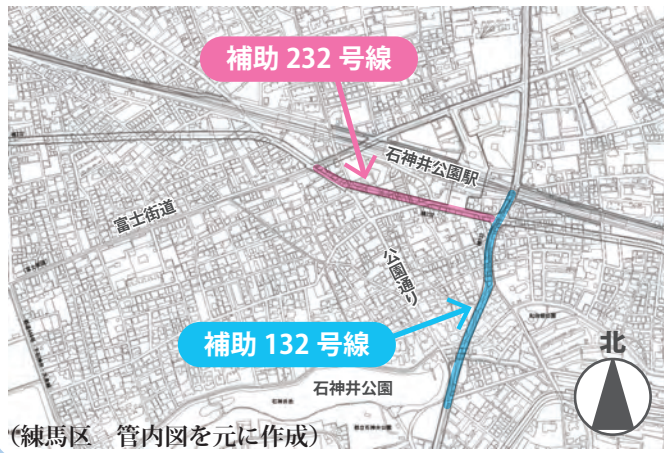


公園通り

Q8 観光案内所はいつできるのか？

A8 平成29年度の開設を目指して、現在調整を進めております。

補助 232 号線と補助 132 号線の位置



● 補助 132 号線について

Q9 補助 132 号線の進捗状況は？

A9 工事可能な区間から、下水道施設の整備を進めております。来年度以降は、無電柱化に向けた工事を行っていく予定です。引き続き用地取得に努め、早期開通が実現するように取り組んでまいります。

Q10 補助 132 号線はどのような道路になるか？

A10 両側に歩道を整備し、駅から石神井公園までのアクセス路のひとつとして、街路樹などによるみどりの軸を形成します。また、現在商店街を通行しているバスの運行経路となるよう、バス事業者と協議を行っております。

事業中の補助 132 号線



● 防災・防犯対策について

Q11 大震災の時の避難誘導等の対策は？ また、建物の耐震性・防火性が脆弱

A11 避難誘導対策については、区の地域防災計画等をご参照ください。

昭和56年5月以前に建築された旧耐震建築物については、助成制度がありますので、建築課耐震化促進係へご相談ください。

都の指定避難場所である石神井公園への安全な経路確保を目的として、都市計画道路沿道については、防火地域指定等により沿道建築物の不燃化を誘導してまいります。

Q12 防犯カメラの設置状況は？

A12 区で把握している限り、商店街に15機、西友周辺に4機設置されております。また、今年度中に全小学校の学区内に2機ずつ設置する予定です。

● その他

Q13 石神井公園の環境を保全する取り組みは？

A13 東京都東部公園緑地事務所に確認したところ、池の水質悪化については、青粉（あおこ）が想定以上に発生したことを受け、水質調査を行っている最中であるとの回答を得ました。



みどり豊かな
石神井公園

石神井公園駅周辺地区 現況模型



Q14 空き家を借り上げ、 お年寄りや子供の居場所づくりをしてみたい

A14 区は「みどりの風吹くまちビジョン アクションプラン」において、空き家等対策の推進を掲げています。まず区内の実態調査を行い、その後、空き家等の活用希望者と活用可能物件をマッチングする仕組みを構築する予定です。

Q15 これからのまちづくりの進め方は？

A15 今年度は引き続き懇談会を重ね、「みどりの風吹くまちビジョン」をふまえたまちづくりの方針を、皆さまと新たに共有してまいりたいと考えております。次年度以降は、抽出したテーマ別に会合を開催するなど、地域の皆さまとの意見交換の場を継続し、より具体的なまちづくりを検討したいと考えております。

● まちづくり懇談会について

Q16 平日夜間は、若い世代は参加しづらい

A16 なるべく多くの方にご参加いただくために、過去の会の参加状況を参考に、出席率の高い時間帯で設定しています。参加できなかった方のために、懇談会ニュース、ホームページ等で広報してまいります。

Q17 事前に議案や資料を提示してほしい 開催回ごとのテーマを前もって知らせてほしい

A17 会のテーマや議案は、事前に配布する各回の開催案内にてお知らせいたします。

第2回の配布資料につきましては、「まちづくり懇談会ニュース創刊号」および「まちづくり懇談会ニュース第2号（本号）」の内容が主となります。第3回以降につきましては、適宜お知らせしてまいります。

第2回

石神井公園駅周辺地区

まちづくり懇談会開催のお知らせ

第2回石神井公園駅周辺地区まちづくり懇談会では、第1回でいただいたご意見について区の回答をご説明すると共に、引き続き地域の皆さまと意見交換を行いたいと考えております。皆さまお誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

日時

平成 27 年 10 月 29 日 (木)

午後 7:00 ~ 午後 8:30 (開場 午後 6:30)

会場

石神井庁舎 5階第1会議室

内容

- 今後のまちづくり懇談会の進め方
- 第1回まちづくり懇談会の振り返り・区の回答説明
- 説明内容についての質疑・意見交換



◆当日の説明資料は、『まちづくり懇談会ニュース創刊号』と『まちづくり懇談会ニュース第2号(本紙)』の内容が主です。

◆お持ちでない方は、いずれも練馬区公式ホームページに掲載しております。(<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/machi/kakuchiiki/shakujii/>)
また「石神井庁舎1階多目的ホール」「ピアレスA棟2階石神井区民交流センター」「区役所本庁舎16階西部地域まちづくり課」でも配布しております。(在庫に限りがあります。ご了承ください。)

お問合せ

練馬区都市整備部西部地域まちづくり課 (担当: 鈴木・青山・松下)

電話(直通): 03(5984)1278

FAX: 03(5984)1226

E-mail: SEIBU03@city.nerima.tokyo.jp